



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社 バナーズ
コード番号 3011 URL <http://www.banners.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 由佳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大内 修

TEL 048-523-2018

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	987	15.6	35	141.1	31	296.8	25	508.3
2022年3月期第1四半期	854	26.3	14		8		4	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 27百万円 (408.8%) 2022年3月期第1四半期 5百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	1.63	
2022年3月期第1四半期	0.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	8,989	2,316	25.6	144.51
2022年3月期	9,136	2,336	25.4	145.88

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,301百万円 2022年3月期 2,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				3.00	3.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,988	1.6	167	3.7	141	3.4	116	17.3	7.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	20,236,086 株	2022年3月期	20,236,086 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	4,311,919 株	2022年3月期	4,311,819 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	15,924,200 株	2022年3月期1Q	16,174,673 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されて持ち直しの動きがみられる一方で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動等による下振れリスク等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境下におきまして、当社グループは全社を挙げて各事業の特性及び付加価値性を活かした事業活動を推進いたしました。

不動産利用事業におきましては、埼玉県本庄市の既存物件の再開発を継続するとともに、新たに群馬県館林市に賃貸用の土地を取得して本年6月より賃貸を開始いたしました。埼玉県本庄市の再開発のうちの残り1棟の開発につきましては大きな進展はありません。建築資材の市場価格の変動や金利動向等に注視して、引き続き好条件の賃貸用物件の取得に向けて積極的に取り組んでまいります。

自動車販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止に取り組み、お客様に安心してご来店頂ける環境作りに注力して営業活動を行ってまいりました。積極的な営業活動で受注は頂けるものの、世界的な感染拡大による部品供給の停滞の影響により、納車までにかかりの時間がかかる状況が続いておりますが、納期遅れを理由とした受注キャンセル希望に柔軟に対応したり、下取車の車検切れに対して代車を提供したりと、それぞれのケースに応じてきめ細かく対応してまいりました。また、車検・点検の顧客獲得に注力するとともに、経費削減にも積極的に取り組みました。

楽器販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が次第に緩和されるなかで来店客数も徐々に増え始め、演奏会やコンクール及び学校の部活動や市民団体の活動等も再開されつつあり、楽器本体や消耗材であるリード及びリード製作関連商品の需要の増加傾向がみられました。さらなる売り上げ増加を図るため、万全なウイルス感染対策を継続するとともに、独自イベントの開催やキャンペーンを実施し、インターネットやSNSを活用した宣伝活動の頻度向上に努めた結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高987百万円（前年同四半期比115.6%）、営業利益35百万円（同241.1%）、経常利益31百万円（同396.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益25百万円（同608.3%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産利用

売上高は98百万円（前年同四半期比103.1%）、セグメント利益は68百万円（同103.5%）となりました。

②自動車販売

売上高は745百万円（前年同四半期比115.5%）、セグメント損失は13百万円（前年同四半期はセグメント損失24百万円）となりました。

③楽器販売

売上高は143百万円（前年同四半期比127.3%）、セグメント利益は15百万円（同319.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比146百万円減の8,989百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比126百万円減の6,673百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比20百万円減の2,316百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,518,326	1,329,241
受取手形及び売掛金	82,405	65,775
商品及び製品	665,380	564,105
原材料及び貯蔵品	3,999	4,128
前渡金	44	—
前払費用	9,132	14,823
短期貸付金	66	66
1年内回収予定の長期貸付金	—	80,000
その他	13,369	13,651
貸倒引当金	△2,046	△1,608
流動資産合計	2,290,677	2,070,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,135,969	4,136,477
減価償却累計額	△1,770,461	△1,800,977
建物及び構築物(純額)	2,365,508	2,335,499
機械装置及び運搬具	171,325	202,723
減価償却累計額	△73,991	△80,325
機械装置及び運搬具(純額)	97,334	122,397
工具、器具及び備品	79,161	79,655
減価償却累計額	△50,454	△52,151
工具、器具及び備品(純額)	28,706	27,503
土地	3,852,464	4,027,223
リース資産	33,757	16,384
減価償却累計額	△23,884	△6,964
リース資産(純額)	9,872	9,420
建設仮勘定	17,785	485
有形固定資産合計	6,371,673	6,522,530
無形固定資産	2,989	2,857
投資その他の資産		
投資有価証券	1,502	1,502
長期貸付金	387,405	307,388
繰延税金資産	66,903	70,100
その他	26,548	26,453
貸倒引当金	△11,269	△11,269
投資その他の資産合計	471,089	394,176
固定資産合計	6,845,752	6,919,564
資産合計	9,136,429	8,989,747

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	239,536	224,810
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	271,032	267,032
1年内返還予定の預り保証金	55,587	55,737
未払金	18,936	41,389
未払費用	25,961	26,975
未払法人税等	11,882	8,631
未払消費税等	53,489	27,674
賞与引当金	13,759	5,561
前受金	278,794	247,102
その他	19,088	30,452
流動負債合計	1,588,068	1,535,366
固定負債		
長期借入金	2,962,276	2,898,518
役員退職慰労引当金	17,190	14,265
退職給付に係る負債	102,653	105,479
預り保証金	1,309,156	1,301,166
長期前受収益	92,746	91,092
再評価に係る繰延税金負債	718,180	718,180
その他	9,407	9,590
固定負債合計	5,211,610	5,138,292
負債合計	6,799,679	6,673,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	576,022	576,022
利益剰余金	548,549	526,705
自己株式	△748,550	△748,562
株主資本合計	683,391	661,535
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,639,601	1,639,601
その他の包括利益累計額合計	1,639,601	1,639,601
非支配株主持分	13,757	14,951
純資産合計	2,336,750	2,316,088
負債純資産合計	9,136,429	8,989,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	854,279	987,960
売上原価	640,502	756,555
売上総利益	213,776	231,405
販売費及び一般管理費	198,845	195,411
営業利益	14,931	35,993
営業外収益		
受取利息	1,535	1,422
受取配当金	45	45
その他	778	3,283
営業外収益合計	2,358	4,751
営業外費用		
支払利息	9,055	8,563
その他	222	385
営業外費用合計	9,278	8,948
経常利益	8,011	31,795
特別損失		
固定資産除却損	105	—
特別損失合計	105	—
税金等調整前四半期純利益	7,906	31,795
法人税等	2,575	4,672
四半期純利益	5,330	27,122
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,068	1,193
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,262	25,929

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	5,330	27,122
四半期包括利益	5,330	27,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,262	25,929
非支配株主に係る四半期包括利益	1,068	1,193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、一部の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	95,743	645,961	112,575	854,279	—	854,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,448	72	—	15,520	△15,520	—
計	111,191	646,033	112,575	869,800	△15,520	854,279
セグメント利益又は 損失(△)	65,854	△24,287	4,776	46,343	△31,412	※ 14,931

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△31,412千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益

II 当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	98,676	745,921	143,361	987,960	—	987,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,420	—	—	15,420	△15,420	—
計	114,096	745,921	143,361	1,003,380	△15,420	987,960
セグメント利益又は 損失(△)	68,150	△13,266	15,251	70,134	△34,141	※ 35,993

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△34,141千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益